

いのちをつなぐ

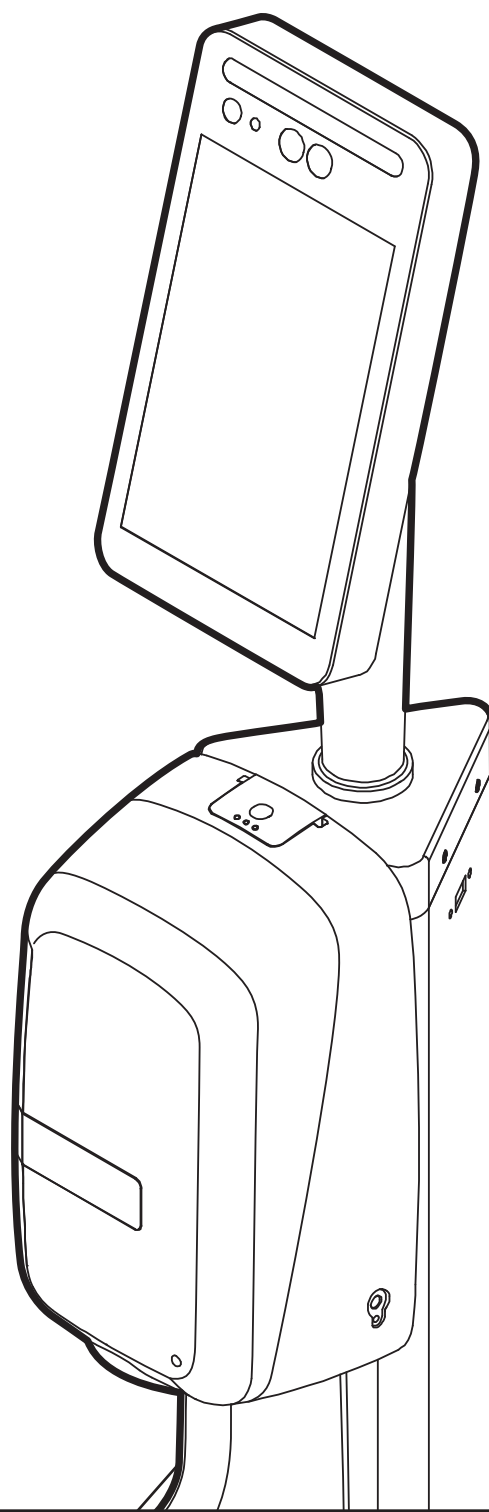
SARAYA

顔認証手指衛生システム

プロテゲートモニター

手順書

プロテゲート用タブレット
更新アプリのインストール方法について



この手順書は、プロテゲート用タブレットの現行バージョンと更新後のバージョンをご確認のあと、作業を進めてください。

プロテゲート用タブレット 更新アプリのインストール方法について

■事前準備が必要なもの

- ①Wi-Fi端末またはデザリング可能なスマートフォンまたは、有線LANでインターネット接続ができる環境
- ②USBメモリ（空き容量110MB以上）
- ③パソコン
OS：Windows 10以上（64bitOS） CPU：インテルCore i3プロセッサと同等以上
メモリー：2GB以上ハードディスク容量：128GB以上（推奨）

アプリアップデートにあたってのご注意

必ず事前にご確認ください。

- ①登録済の顔登録データが削除されてしまうため、PC用ソフトで事前に登録データをエクスポートして頂く必要があります。PC用ソフトが使えない環境の場合には、お手数ですが顔登録をやり直して頂く必要があります。
※PC用ソフトは、最新版のFaceClient1.1.0をご使用ください。
- ②履歴データが削除されてしまうため、アプリのアップデートを行う前にタブレットまたはPCソフトで履歴データをエクスポートして頂く必要があります。このデータエクスポートを行わないと過去の履歴データは削除され、復元が出来なくなります。
- ③前ページの更新アプリのインストール時のインターネット接続の要否で必要と表示したアップデートは、プロテゲートタブレット用アプリインストール時にインターネットで承認手を自動で行います。インターネットに接続できていない場合は、インストールを完了できませんので、必ずタブレットをインターネットに接続した上でインストールを開始してください。

■更新アプリ インストール前のデータ保存について

使用中の アプリバージョン	更新後のアプリバージョン	
	V1.5.7.0_GH	V2.3.7.0_GH
V1.4.7.0_GH V1.4.8.0_GH	顔認証用データ・通行履歴の バックアップが必要	顔認証用データ・通行履歴の バックアップが必要
V1.5.2.0_GH	顔認証データはタブレットから消え ませんが、念のために顔認証用デ ータのバックアップと通行履歴のバッ クアップを行ってください。	顔認証用データ・通行履歴の バックアップが必要

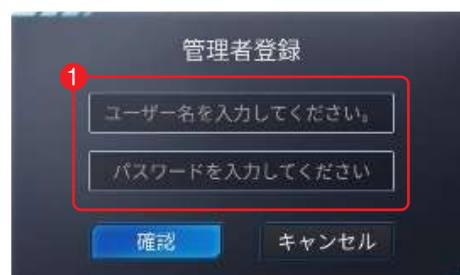
■更新アプリ インストール時のインターネット接続の要否

使用中の アプリバージョン	更新後のアプリバージョン	
	V1.5.7.0_GH	V2.3.7.0_GH
V1.4.7.0_GH V1.4.8.0_GH	必要	必要
V1.5.2.0_GH	不要 ※2	不要 ※2

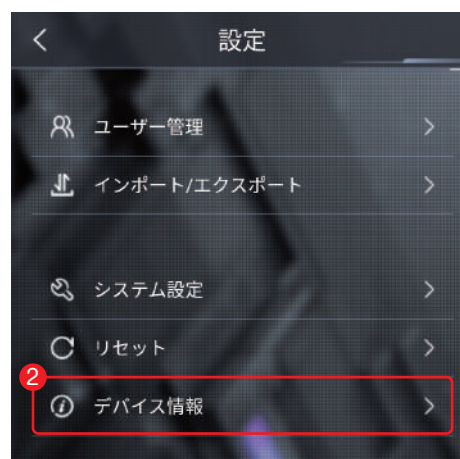
※2. 不要の場合は、Wi-Fiや有線LANでのインターネット接続設定の手順はスキップし、次の手順へ進んでください。

インストール済アプリのバージョン確認方法

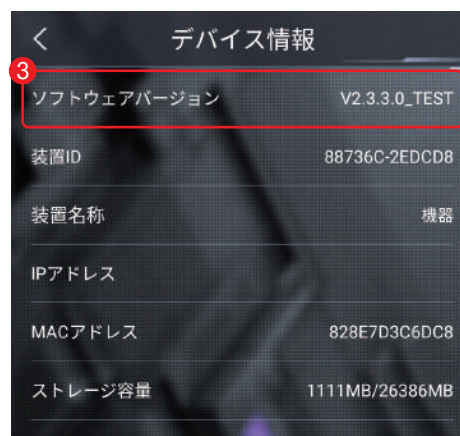
- ①ホーム画面を3秒長押しし、管理者登録（ログイン画面）を表示させて、ログインIDとパスワードを入力します。



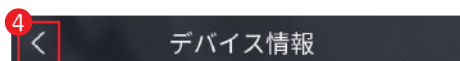
- ②デバイス情報をタップします。



- ③ソフトウェアバージョンを確認します。



- ④<をタップしてホームに画面に戻ります。



更新アプリのバージョンと機能の違いおよび 対応ディスペンサーについて

ご使用されるディスペンサーの型番によって、使用可能な更新アプリのバージョンが異なりますので、ご注意ください。

UD-9600A-FRS

使用可能更新アプリのバージョン：

V1.5.7.0_GH

機能変更内容：

- ①顔認証の精度向上と測定温度を大きく表示する改良版



UD-600PG ※1

使用可能更新アプリのバージョン：

V2.3.7.0_GH

機能変更内容：

- ①顔認証の精度向上と測定温度を大きく表示する改良版
- ②個人毎の手指消毒履歴が記録されます。
- ③オプションとの組み合わせで自動ドア連動が可能です。

※1. V2.3.6.0アプリ更新には、新ディスペンサー UD-600PGをお買い求めの上、更新アプリのインストールを行ってください。UD-9600A-FRSでは作動しませんので、ご注意ください。

PROTEGATEの
ロゴが付いています。▼



インストール手順

インストールの手順は、プロテゲートのご利用の仕方によって一部手順が不要になります。

顔認証機能をご使用されておらず、かつ通行履歴データも不要の場合

- 1 更新用アプリのダウンロード
- 2 更新用アプリをUSBメモリに保存
- 3 タブレットとインターネットの接続
- 4 更新用アプリインストール
- 5 アップデート完了

顔認証機能をご使用の場合、または通行履歴管理機能をご使用の場合

- 1 更新用アプリのダウンロード
- 2 更新用アプリをUSBメモリに保存
- 3 顔登録データのバックアップ (PC用ソフトが利用できる環境のみ)
- 4 通行履歴データのバックアップ
- 5 タブレットとインターネットの接続
- 6 更新アプリインストール
- 7 顔登録データの一括登録 (PC用ソフトが利用できる環境のみ)
またはタブレットを使った顔データの再登録
- 8 アップデート完了

1 更新アプリの準備

①更新アプリのダウンロード

下記URLから更新アプリデータをダウンロードしてください。

<https://pro.saraya.com/support/maintenance/protegate/>

ダウンロードには、下記のID・パスワードを入力してください。

ID…saraya(半角) パスワード…2525(半角)

②ダウンロードした更新アプリデータをUSBメモリに保存してください。

2 タブレットとインターネットの接続

Wi-Fiの場合は【1】の手順で、有線LANの場合は【2】の手順でインターネットと接続してください。

※使用中のアプリバージョンがV1.5.2.0_GHの場合は、インターネット接続は不要です。ユーザーデータのバックアップに進んでください。

【1】Wi-Fiを使ったインターネット接続方法

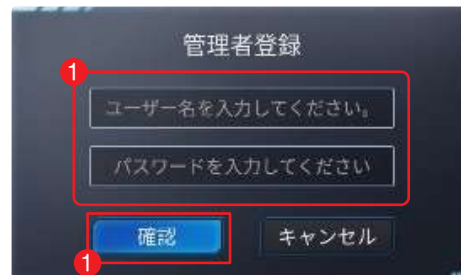
①画面を3秒長押しし、管理者画面をポップアップします。ログインID及びパスワードを入力します。

1)saraya (半角小文字) を入力します

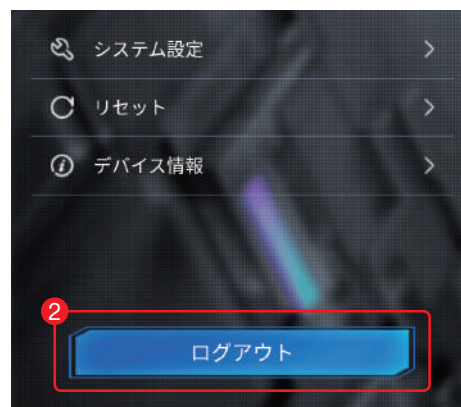
2)パスワードを入力します。

(設定変更されたパスワードあるいは設定変更されていない場合は、取扱説明書に記載の初期値を入力してください。)

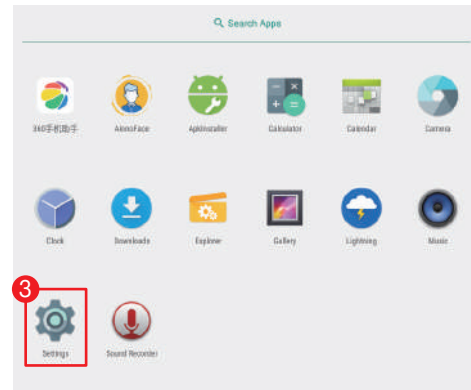
3)確認をクリックします



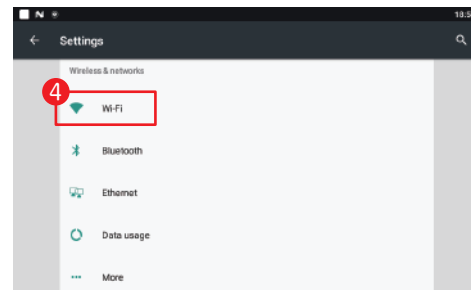
②ログアウトを選択します。



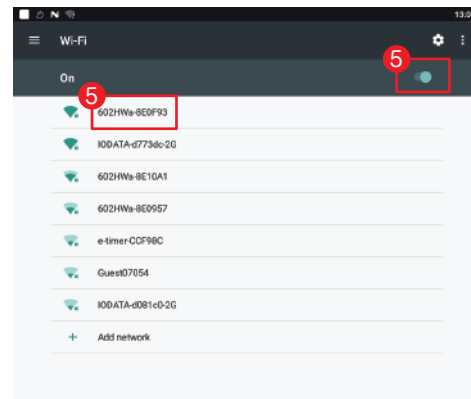
③ 「Settings」をタップします。



④ Settingsを開いたら「Wi-Fi」をタップします。



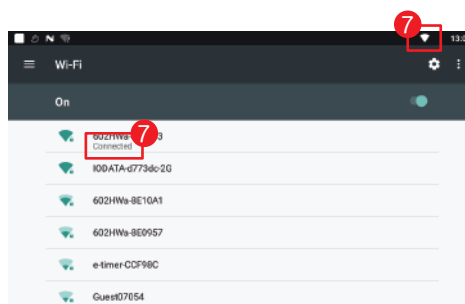
⑤ 「Wi-Fi」を「ON」にしてください。
一覧から今回接続するアクセスポイントをタップします。



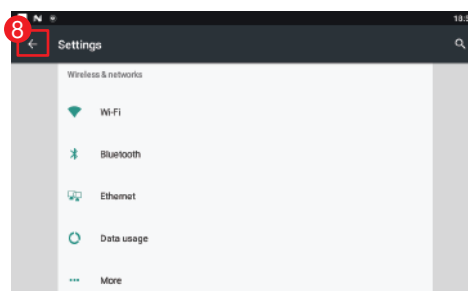
⑥ パスワード入力画面が表示されます。
パスワードを入力して「Connect」を
タップしてください。



- ⑦ 「Connected」が表示されたら、「Wi-Fi」は接続完了です。

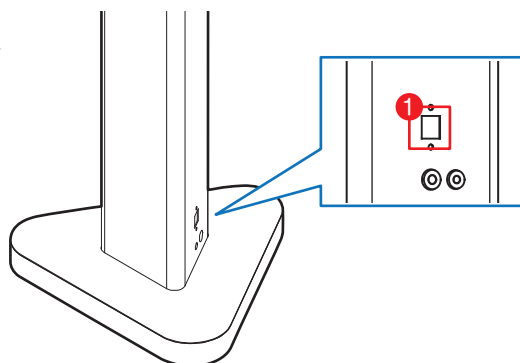


- ⑧ 戻るの「←」をタップしてホーム画面に戻ります。ホーム画面に戻りましたら更新アプリを保存したUSBメモリをスタンドのUSBコネクタに差し込みます。



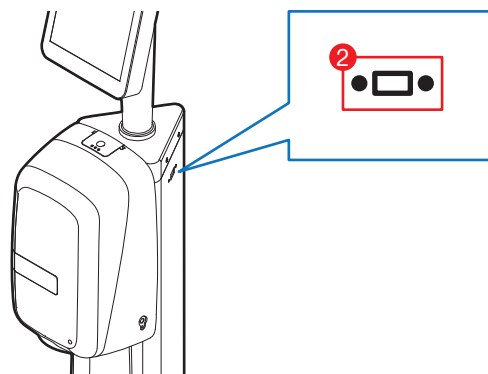
【2】有線LANを使ったインターネット接続方法

- ① プロテゲート用スタンドのLANポートにインターネットに接続できるLANケーブルを接続します。



- ② 更新アプリを保存したUSBメモリをスタンドのUSBコネクタに差し込みます。

※スタンドのUSBコネクタが2つある仕様の場合は、タブレットと接続しているコネクタをご利用ください。



3 ユーザーデータのバックアップ

PC用ソフトを使って、登録済のユーザーデータをエクスポートします。

※PC用ソフトは、最新版 (FaceClient1.1.0) を必ずご利用ください。

※ユーザーデータのバックアップを取らずに更新アプリをインストールするとユーザーデータは削除され、復元することができなくなりますので、ご注意ください。

【1】パソコン用ソフトのダウンロード

最新版ソフトのダウンロードは、こちらから

<https://pro.saraya.com/support/maintenance/protegate/index.html>

ダウンロードには、下記のID・パスワードを入力してください。

ID…saraya(半角) パスワード…2525(半角)

【2】ユーザーデータのエクスポート

ユーザー管理メニューの中のデータのエクスポートを使ってユーザーデータのバックアップを作成します。PC用ソフトの使い方詳細は、プロテゲートモニター用PCソフト取扱説明書 (FaceClient1.1.0版) をご参照ください。

- ①1)パソコンとプロテゲートを有線LANまたはWi-Fiで接続します。
- 2)PC用ソフトを起動します。
- 3)パソコンからプロテゲートにログインします。

- ② PC用ソフトのメニュー「ユーザー管理」をクリックします。



- ③ 「ユーザーデータをタップし、表示された「データのエクスポート」をクリックします。



- ④ 保存したいフォルダを指定してから、「フォルダの選択」をクリックします。



- ⑤ 正常にエクスポートしたメッセージが表示されたら完了です。



4 通行履歴データのエクスポート

PC用ソフトを使って、通行履歴データをエクスポートします。

※ PC用ソフトは、最新版 (FaceClient1.1.0) を必ずご利用ください。

※ ユーザーデータのバックアップを取らずに更新アプリをインストールするとユーザーデータは削除され、復元することができなくなりますので、ご注意ください。

【1】通行履歴のエクスポート

通行履歴メニューの通行記録のエクスポートを使って記録のエクスポートを行います。PC用ソフトの使い方詳細は、プロテゲートモニター用PCソフト取扱説明書 (FaceClient1.1.0版) をご参照ください。

- ① 通行記録のエクスポートについて

- 1) 通行記録をタップしてから、期間を選択します。
- 2) 期間を選択したら検索をタップします。
- 3) 通行記録のエクスポートをタップします。



- ② データの保存場所を選択し、「フォルダの選択」をクリックします。



- ③ 「OK」をタップすると右画面のように自動に開始します。



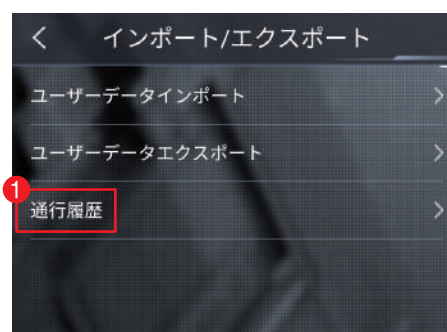
【2】タブレットでの通行履歴のエクスポート

- ① 「通行履歴」をタップすると、通行履歴データをエクスポートできます。タブレットでエクスポートする場合はUSBメモリーが必要です。

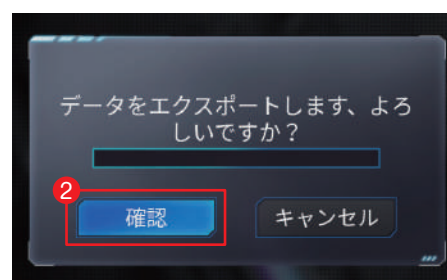
USBメモリーは別途ご用意ください。

パソコン用ソフトから接続する場合は、USBメモリーは不要です。

※スタンドのUSBコネクタが2つあるタイプの場合は、タブレットと接続した上下どちらかにUSBメモリーをさしてください。

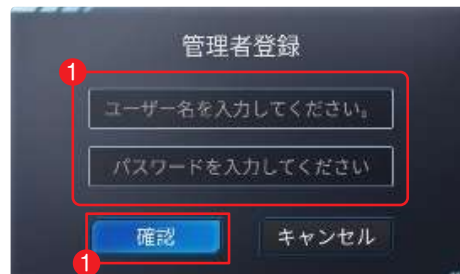


- ② 「データをエクスポートします、よろしいですか？」で確認をタップした後、画面が戻ったら、ログアウトをタップします。

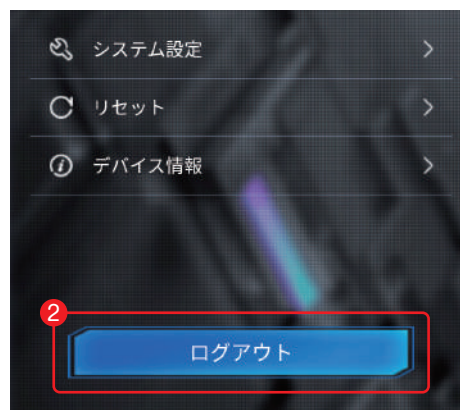


[3] エクスポートしたデータをUSBメモリーに コピーする場合の手順

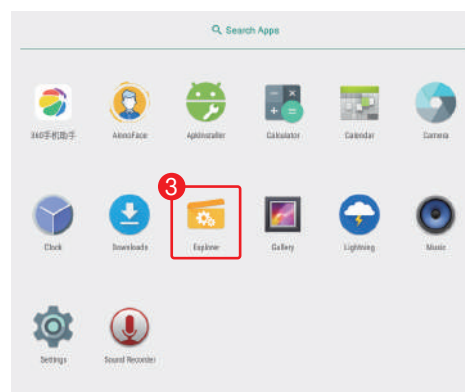
- ① ホーム画面を3秒長押し、管理者登録（ログイン画面）を表示させて、ログインIDとパスワードを入力します。



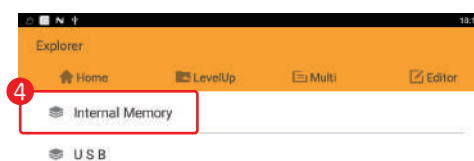
- ② 設定画面から「ログアウト」を押し、ポップアップした画面の確認をタップし、Android™OS画面に入ります。



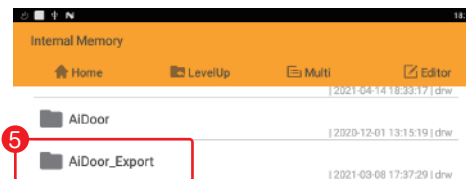
- ③ Android™OS上で、エクスポートしたデータにアクセスします。「Explorer」をタップします。



- ④ 順番に下の階層のフォルダをタップしていきます。



- ⑤ “Internal Memory”-“AiDoor_Export”-“Excel”のフォルダにデータが保存されています。



- ⑥ 直近で作成した通行履歴のエクセルデータ名を長押しするとサブメニューが立ち上がりますので、“COPY”をタップします。USBポートにメモリーを挿入した状態で、“Home”-“USB”-“Editor”-“Paste”で、保存した通行履歴のエクセルデータをUSBメモリーに書き込みすることができます。

※エクスポートしたデータはタブレットから削除されません。

- ⑦ “Ainooface”をタップして、専用アプリを立ち上げます。

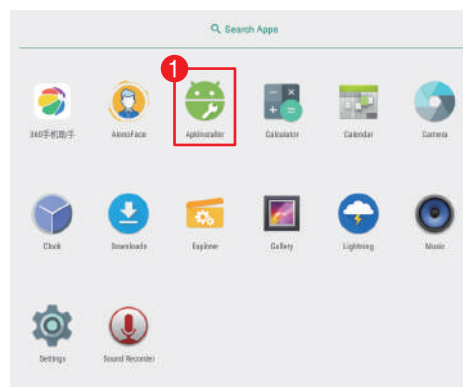
※“Ainooface”のアイコンは、タブレットの下から上へスワイプすると表示されます

※立ち上げには、少し時間がかかります。

5 更新アプリアップデート

【1】インストール方法

- ① 「Apkinstaller」をタップします。



- ② 「Install」をタップします。



③ 「USB」 Memoryをタップします。

※表示されない場合、スタンドに2つコネクタがある場合は、
もう1つのコネクタを試してください。タブレットと接続している
コネクタでないと表示されない為です



④ 画面下側に表示されたAPPソフトを
タップします。

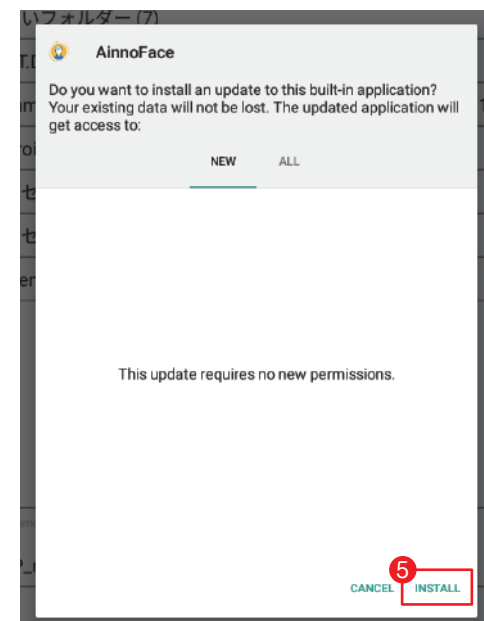
※インストールするアプリのバージョンによって名称が変わります。

アプリバージョンV2.3.7.0の場合
APP_gh_V2.3.7.0_GH_20210720.apk

アプリバージョンV1.5.7.0の場合
APP_gh_V1.5.7.0_GH_20210727.apk



⑤ 「INSTALL」をタップします。

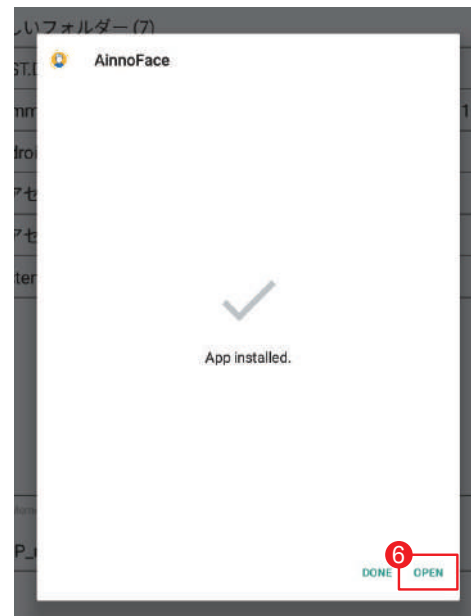


- ⑥ インストールが完了したら「OPEN」をタップし、認証アプリを立ち上げます。

※USBメモリを抜いてインストールを完了します。

※エラーコード1001が表示される場合、インターネットに接続されていないエラーです。一旦キャンセルをタップして、2.タブレットとインターネットの接続の手順の設定ができていますかご確認ください。

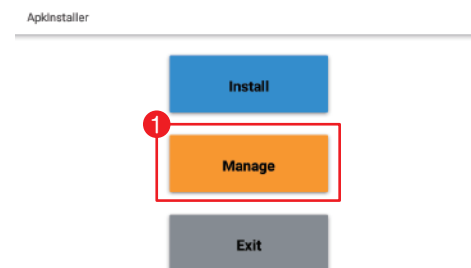
接続が確認できればAinnofaceをタップしてアプリを起動させてください。



【2】アンインストール方法

なんらかの理由で、アンインストールが必要になった場合の手順です。

- ① インストールした更新アプリから旧バージョンに戻す方法は、「Apkinstaller」アプリから「Manege」メニューをタップします。



- ② Ainnofaceをタップするとサブメニューが立ち上がりますので、uninstallを選択してアンインストールを実行します。これでV1.4.3.0_GHのバージョンに戻ります。

6 ユーザーデータのインポート

① アプリインストールが完了したらエクスポートされたユーザー管理データをプロテゲートにインポートを行います。

1) PCソフトのユーザー管理をクリックします。

2) 「+登録」にカーソルを置くとサブメニューが表示されますので、一括登録をクリックします。

※顔認証機能をご使用にならない場合は、ユーザーデータインポート手順を行う必要はありません。⑤のシステム設定確認へ進んでください。



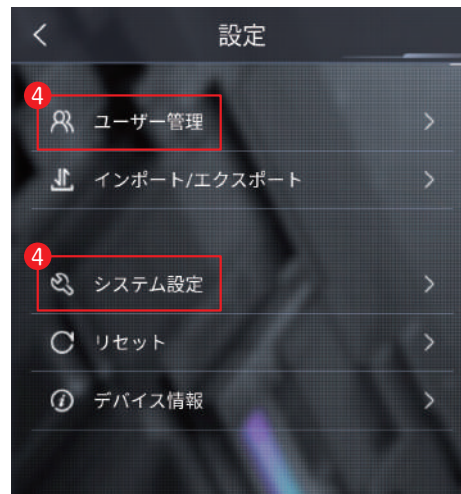
② 「写真アップロード」をクリックして、先ほどユーザーデータをエクスポートしたフォルダを選択し、「フォルダの選択」をクリックします。



③ 登録するデータの一覧が表示されますので、「登録」をクリックします。インポートされたら完了をクリックします。



- ④タブレットの設定画面にてユーザー管理をタップして、インポートの結果を確認してください。



- ⑤システム設定場面にて「マスク検知」及び「温度測定」が「ON」になっていることを確認してください。

V1.5.7.0バージョンをインストールした場合は、入退場ゲート制御が「ON」になっていることを確認してください。

V2.3.7.0バージョンをインストールした場合は、「OFF」になっていることを確認してください。



- ⑥最後に緑枠表示したくをタップしてアプリを立ち上げし、インストールを完成します。

